

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日:2022年9月5日

所属学部／研究科・学科／専攻	経営学部経営学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア大学バークレー校 現地言語: University of California, Berkeley
留学期間	2022年5月～2022年8月
留学した時の学年	4年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2022年8月27日
明治大学卒業予定年	2023年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期: 2学期: 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	31,814人
創立年	1868年

留学費用項目	現地通貨(ドル)	円	備考
授業料	6383	861,705円	以下、1ドル=135円で計算
宿舍費	6225	840,375円	
食費		100,000円	
図書費	103.85	14,020円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	89	12,015円	
現地交通費	415	55,975円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		200,000円	チケットなど
被服費		20,000円	
医療費		円	
保険費		45,495円	形態:明治大学指定
渡航旅費		300,000円	滞在中、セッション後の飛行機代も含む
ビザ申請費	510	68,850円	
雑費		81,565円	
その他		50,000円	パスポート、PCR検査代他
その他		円	
合計		2,650,000円	セッション後のメキシコ観光も含む

渡航関連

渡航経路
往路 出発地:成田 目的地:サンフランシスコ 経由地:ロサンゼルス(LA から SF まではアムトラック使用) 復路 出発地:サンフランシスコ 目的地:成田 経由地:ロサンゼルス(SF から LA まではバスを使用)
渡航費用
①往復チケットを購入した場合 航空会社: _____ 料金: _____
②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:zipair 料金:44,692 円 復路 航空会社:ユナイテッド航空 料金:64,190 円 _____ ∴合計:108,882 円
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: _____) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:公式ホームページ) <input type="checkbox"/> その他(_____)

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:International House) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 _____)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
4)住居を探した方法:
留学体験記
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
<p>個室、相部屋どちらにするか迷う方が多いと思います。相部屋を選択した場合でも、ルームメイトがセッション A、D のうち片方のセッションしかいない場合が多々あるようです。したがって、人によっては、相部屋を選択してもルームメイトが来るまではシングルルームと同じ環境になる方もいるようです。私は個室でよかったと思っています。相部屋の学生の中には、様々な国から来ているインターナショナルな生徒と共に過ごすため生活リズムが異なり、体調を崩している方もいました。部屋に関してはランダムでフロアや部屋番号が振り分けられます。部屋によっては、騒音や虫の被害を受けることもあるようなので、そのような際には遠慮せず寮の担当者に相談してください。</p> <p>寮の生活に際して必要な情報を以下に書きます。</p> <p>寮にはシーツ、枕、掛け布団が準備されていないため、持参する必要があります。近くにスーパー(ターゲット)やイケアがあるので、そこで揃えることをお勧めします。冷蔵庫は3ヶ月 40 ドルでレンタルすることができます。食堂には割り箸が常備してあるので、マイ箸を持参する必要はありません。</p>

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所: _____)
2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等: _____)
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?
たびレジの登録、外務省からのメール
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)
寮のインターネット接続が不安定な場合があります。キャンパス内は wi-fi があるので SIM カードは必要ありません。ただし、セッション間での観光やサンフランシスコへの出向く時には必要になるので、購入した方がいいと思います。
5)現地での資金調達はどうに行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)
大半をクレジットカードで支払いをしました。基本的にはクレジットカードで事足りますが、現金を使用する場合(ツアーやチップ、割り勘など)もあるので 300 ドルほど持っていくと良いと思います。ちなみに、移動には uber を使用することが多いです。Uber のアプリでは割り勘機能があるため、現金で割り勘をすることはありませんでした。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。
先輩方の過去の体験記によるとキャンパスの近くにダイソーがあるとのことでしたが、閉店してしまったようです。ただし、寮からバスで三十分ほどの距離にある TOKYO FISH MARKET やサンフランシスコの JAPAN タウンでは日本食が揃うので、基本的に日本からもっていくべきものはないように感じました。
7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)
クレジットカードで支払いを行いました。私が留学していた時期は為替の変動が大きく、人によっては1ドルで二十円ほど影響を受けた人もいるようなので、為替のレートを考慮しながら支払いするのがいいと思います。寮の関しては、最初の申し込みから2週間ほどで支払いの案内が来るようですが、私は5週間経っても案内が来なかったため自分から連絡をしました。アメリカでは、返信がこないことが多々あるようなので、自分で計画的に準備をするようにしましょう。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
10 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか？	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付して下さい。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Marketing	マーケティング
科目設置学部・研究科	Haas School of Business
履修期間	SessionA
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 150 分が 3 回
担当教授	Janet Brady
授業内容	様々なケースを用いて、マーケティングについての知識を理解し、マネージャーのように考え、運営する方法を学ぶこと
試験・課題など	ライティング課題 30%(3回、3つのうち最も得点が悪いものはカウントされない)、ファイナルテスト 30%(事前課題ライティング、対面でのマークシート)、グループプレゼンテーション 25%(1グループ 3~5 人)、出席 15%
感想を自由記入	過去の先輩方の体験記からもわかるように、留学生に対して理解のある教授でした。私は受講してよかったと思っています。教授の英語もわかりやすく、講義内では動画も用いながら説明をしてくださるため、理解しやすかったです。プレゼンテーションはランダムで決められた1グループ 3~5 人で 20 分かけて行います。原稿を見ると原点になってしまうため、スラスラ言えるまで練習しましょう。課題自体は日本の大学と比較して多いものの、計画的に準備すれば問題はないです。ただし、グループプレゼンの準備はチームメンバーのスケジュールも加味しなければならぬため、早い段階で準備をすることをお勧めします。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Project Management	プロジェクトマネジメント
科目設置学部・研究科	Haas School of Business
履修期間	Session A
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル (チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 150 分が 2 回
担当教授	Omar Romero-Hernandez, Sergio Romero-Hernandez
授業内容	<p>新進気鋭のビジネスリーダーは、常に経営者の注目とリソースを集め、プロジェクトを期限内に、予算内で、評判に見合う品質で完成させることを目指しています。しかし、プロジェクトが成功するのは、3 件に 1 件程度です。このクラスの目標は、プロジェクトを成功に導くために必要なことを教えることです。</p> <p>このコースの第一の目的は、プロジェクトを成功に導くために必要な重要なスキルと知識を身につけることです。そのためには、プロジェクトの開始、計画と組織化、コントロール、コミュニケーション、プロジェクトのライフサイクルの概念を理解することが必要です。</p> <p>さらに、WBS、CPM、Pert、ガントチャート、リソース制約型スケジューリングなどの基本的なプロジェクトスケジューリング手法を習得することが期待されています。また、IT、建設、製品開発、事業再編、戦略など様々な分野のビジネスケースを紹介しながら、方法論、フレームワーク、ツール、国際標準を学びます。また、プロジェクトマネジメントソフトウェアの使い方やリスク分析についても学びます。</p>
試験・課題など	クラス参加 15%、ケーススタディの質問とミニ課題 30%、最終プロジェクト 20%、試験 35%
感想を自由記入	プロジェクトの概念からツールまで幅広く学ぶことができます。授業も 20~25 人くらいの生徒しかおらず、授業後は食事に行くなどして仲を深めることができました。教授の英語は少し訛りがあり、最初は理解するのが難しいかもしれません。また、教授はテストに関して簡単な問題しか出さないとおっしゃっていましたが、実際の問題は難しく生徒全員が苦勞していたので、しっかり勉強して臨んだ方がいいと思います。ファイナルテストは記述式と選択問題でした。記述試験の採点はかなり優しくつけてくれるようなので、自信がなくても記入するようにしましょう。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to International Business	国際ビジネス入門
科目設置学部・研究科	Haas School of Business
履修期間	Session D
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 150 分が 3 回
担当教授	Dan Himelstein
授業内容	<p>このコースの目的は、学生に国際ビジネスの中核となる概念を紹介することである。</p> <p>このコースでは、世界経済がどのような状況で運営されているか、また、そのような状況の中で企業がどのように運営されているかということを探求する。学生はクラスで積極的な役割を果たし、活発な対話とディスカッションがコースの中核となる。講義の前に、課題図書や問題集、ケースを読み込んでおくことが望まれる。</p>
試験・課題など	小課題 5%、クラス参加 15%、中間試験 35%、期末試験 45%の計 100%で成績評価が行われる。
感想を自由記入	授業形式は日本の大学と同じく、教授の講義を聞くスタイルでした。全講義を通して 2 回ほど、各チームに分かれて課題で調べた新聞記事を共有する時間がありました。セッション A の課題量と比較して、本講義の課題の量は少なく、少し物足りない気がしました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
COLLEGE WRITING: BUSINESS VOCABULARY	カレッジライティング:ビジネス語彙
科目設置学部・研究科	Social Science
履修期間	Session E
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が4回
担当教授	Carolyn Carr, M.A
授業内容	ポキャブラリーを増やすことは、国際的なビジネス交流やビジネスコースでの自信を高め、パフォーマンスを向上させることができます。このコースは、一般的なビジネスシーンで頻繁に使用される語彙の理解と使用を向上させることを目的としています。受講生は短い記事を読み、ビデオを鑑賞し、ビジネスの世界で一般的に関心のあるトピックについて話し合います。また、新しい語彙を識別し、記録し、記憶するためのストラテジーを習得し、練習します。
試験・課題など	HWとプレゼン 35 ポイント、プロジェクト 2 回(4+6=計10 ポイント)、クイズ 10×3=30 ポイント、リアクションペーパー10×2=20 ポイント、授業参加とリーダーシップ 5 ポイント 計 100 ポイントで成績評価が行われる
感想を自由記入	授業は十五人ほどの少人数で行われます。授業ごとに1~2分の発表があります。また、2人1組でディスカッションも行われます。課題は授業ごとに2~3個ほどあり、講義後は3時間ほどかけて課題を終わらせました。課題の量は多いですが、非ネイティブスピーカーのための講義ということもあり、授業内容は比較的易しいです。英語にかなりの苦手意識がある方にはオススメです。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など

なし

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

コロナの影響もあり、大学2、3年生時に留学を行うことができませんでした。そこで、4年時に留学をし、留学後に休学をして就職活動を行おうと思っていました。しかし、留学を行う中で、自分とは大きく異なるバックグラウンドや考えを持つ留学生と意見を交わしながら、学ぶことの楽しさを知ることができました。現在は、就職活動を行うか、海外大学院に進学をするか悩んでいます。どちらの選択肢を選ぶにせよ、GPAを維持することは重要であると思います。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	TOEIC や IELTS などの語学要件を満たすことができるように勉強
	4月～7月	語学試験の勉強
	8月～9月	明治大学の留学制度を確認
	10月～12月	募集要項をもとに志望校を確定
留学開始年	1月～3月	航空券、ワクチン接種など、渡航に必要なものを揃える。
	4月～7月	留学前の準備(パスポート、VISA)、留学
	8月～9月	留学、振り返り
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

日本経営学の主流派はアメリカであり、現地で経営学を学ぶことは有益であると思いました。また、アメリカには多種多様な文化、人種が集まります。中でも、カリフォルニア大学バークレー校はアメリカの州立大学で最高峰の教育水準を誇り、世界中の優秀な留學生が集まるため、様々なバックグラウンドを持った留學生と英語で議論を交わし、自身のレベルを確認するとともに、英語力の向上を図りたいと考えました。さらに、経営を学ぶ者として、全米トップ 10 のビジネススクールの一校である Haas School of Business の授業を受講できるのも魅力的であるように感じました。明治大学でも上位を目指して学習に励んできましたが、海外のトップスクールで自身の力が通用するのか挑戦してみたいと思い、カリフォルニア大学バークレー校を志望しました。

世界のトップ大学ということもあり、様々な地域や国から優秀な学生が集まってきています。アマゾンやグーグル、フェイスブックなどの GAF A と呼ばれるビッグテック企業のインターン生から起業して自分の会社を営んでいる人まで、色々な人と関わることができました。先述のように、多種多様な学生が集まる環境であるため、偏見や差別はありませんでした。

バークレーは大学街ということもあり、大学生にとって住みやすい環境でした。大学近隣の飲食店は深夜 1～2 時ごろまで開店しているところも多く、勉強中の夜食を買うこともできました。キャンパス内にはリスや鹿などの動物もおり、大学の雰囲気も穏やかでした。

寮では、様々な国から訪れている国際的な学生と交流できる機会が多くありました。例えば、イベントで行われる AXE THROWING や野球観戦など、自分から積極的に参加することで友達を作ることができました。また、毎週水曜日に開催されるコーヒーアワーは週ごとに開催国が異なるため、各国の文化を知る良い機会となりました。滞在中にはコーヒーアワーを日本人内で企画をし、ジャパニーズコーヒーアワーも開催することができました。国際的な学生に日本の文化を理解してもらうこともでき有意義でした。

上記のように、国際的な学生と交流できる機会が多かったため、様々な国の友人を作ることができました。ただ、食堂やホールなど、様々な学生が集まる機会があっても同じ国籍の人が同士で集まる傾向にあり、その輪に入ることは大変でした。自分から積極的に話しかけることが大事です。また、日本と比較してパーティーも多く開催されていました。自発的に参加することで、交友関係を築くことができました。今では、連絡を取り合うほど仲の良い友人もたくさんいます。

留学前は、ビジネスで使用できるレベルの英語力を身につけ、視野を広く持つことを目標に立てました。正直に述べると、英語力が上がったという実感はありません。しかし、日常的に英語を使用することで、英語を話し、聞き、読み、書くことへのハードルが下がったように感じます。また、留学中には様々な人と関わり、多くの経験を積み、異なる価値観や文化に触れることで、視野を広く持ち日本を俯瞰的に見るできるようになりました。

費用や英語力などの不安から、留学をするか悩んでいる人はたくさんいると思います。私自身もそうでした。留学を終えた今、留学を志してよかったと思っています。実際に現地に足を運び、様々な学生と勉強し、異なる環境で生活することで、学ぶことは多くあります。異国の地で生活すること、他国の友人を持つこと、多様な考え方を身につけることは、自分自身の自信にもつながります。私自身もそうでした。留学を諦めるのではなく、目標を持って留学に挑んでほしいと思います。